



子どもみこし

編集・発行
熊日多良木販売センター
(代) 小出忠紹 小出堅太郎
石田敏郎 岩崎稔
球磨郡多良木町大字多良木356-1
TEL 42-3355
FAX 49-1726
http://www.taragi.com/

あいあいスポーツクラブたらぎ

卓球

本物の舞台芸術体験事業

黒肥地小学校

卓球会員の皆さん



今年の郡体で40歳以上男子の部で優勝した指導者代表の西辰郎さんを中心に、優秀な6名の方が指導にあたられている卓球教室。主にマシンを使用した基本の習得と、ラリー(可能な限り、指導者と会員がペア)というプログラムで、個人に合った練習方法で、取り組まれています。特にラリーでは、誰とでもラリーが50球以上、続けられるようになることを目標にされています。最近卓球を始められた多武ケイコさんは「狙い通りに打てると、とても楽しいです。ストレス解消にもなり、2時間の練習じゃ物足りないですね。」とすっかり卓球の魅力に、



虜とされているご様子でした。「10分でも、20分でも、時間に関わらず、楽しく無理せず、打ってもらえれば」と、西さんは話されていました。

活動 毎週水曜日 19:30~21:30まで 多良木町市民体育館、現在中学生を含む、男女約40名が参加



(音楽物語「ブレーメンの音楽隊」で共演する児童たち)

10月19日黒肥地小学校でセントラル愛知交響楽団の公演がありました。これは、児童に優れた舞台芸術を鑑賞し、芸術文化団体等による実演指導や共演に参加し、本物の舞台を身近に触れることで、芸術を愛する心を育てて、豊かな情操を養うように文化庁が企画したものです。ブレーメンの音楽隊に参加した6年藤本綾音さんは「最初は、簡単だろうと思っていたけど、やってみるとセリフも心をこめて言わなくてはいけないし、皆に聞こえるような声で言わなくてはいけなかったので、とても苦労しました。」また、6年大塚将稀くんは「練習のときより大きな声で言えてとても良かったし、オーケストラの皆さんと合わせて劇をすることは、なかなか出来ない体験が出来て良かったです。僕は、ハンガリー舞曲第5番の演奏がとても心に残っています。」と感想を話してくれました。



まかせてよ21世紀

よしとけ そうた
吉武 想太くん (1歳2ヵ月)
あさぎり町岡原北
父：吉武 哲雄さん
母： 絵里さん
コメント：病気やケガをせずに、健康に育ってね。



佐々木邦人さん、美佳さんのご兄妹

多良木町多良木の佐々木邦人さん(27歳)は、小学4年生から陸上を始められ大学そして現在クラブチームのHEARTS(ハーツ)に所属されていて、今年の県民体育祭では200メートル(29歳以下)でみごと優勝、二連覇を達成されました。これまで19年間の陸上競技生活のなかで一番の思い出はインターハイの予選となる南九州大会の400メートルリレーで九州学院に0.01秒差で勝って優勝したレースだそうです。邦人さんは「これまでの素晴らしい成績を残す事が出来たのも、親の支えや協力そして職場の理解があったことです。また期待に応えられるよう三連覇を目指してがんばります」と新たな目標にむけて力強く語ってもらいました。佐々木美佳さん(23歳)は、小学4年生から陸上を始められ高校までの10年間主に100メートルを専門に走って来られましたが今年初めて挑戦した県民体育祭の200メートルで見事、三位に入賞されました。美佳さんは、「職場の理解と先輩方の指導によって陸上が出来たので、お世話になった方や両親に感謝して、来年は本来の100メートルで良い成績を残したい」と言うておられました。こんな先代から続く陸上一家の兄妹を今後も注目していこうと思います。

もぞか200号 発行記念 先代から続く陸上一家

◆14日は明治50年の新橋〜横浜間鉄道開通を記念する「鉄道の日」。人吉球磨でも開業百周年の肥薩線と20年のくま川鉄道を中心とする「百年レイル観光フェスタ」が緑り広げられました。◆多良木町交流館石倉でも九州遺産観光車両のデザイン1やファンらが写真などで国鉄湯前線(くま川鉄道)にまつわる興味深い話を披露◆熊本〜人吉間を土日や祝日に運行される「SL人吉」の機関車ハチロクは晩年をほとんど湯前線で過ごしたとか。線路や鉄橋が老朽化して無理は承知の上で、なんとか多良木まで走らせられたいかと改めて思います◆地元ではくま川鉄道の経営の厳しさが話題になり、沿線の5つの高校に通う生徒にとって貴重な足。日に1100人が利用します。しかし、最盛期は1700人だったそうです。◆昼間は老人が応援しようと「野老運動」も展開されています。つつい便利な車に頼りがちな毎日の窓から球磨の風土を眺めますか。環境対策に少しは貢献していると自負心を抱きながら。(X)

木希記

園児紹介



(元気で仲良しのさくら組のみなさん)

さくら組：十九名 担任：松下明美先生
おしゃべりと運動が大好きな、元気いっぱいの子供たちです。

黒肥地保育園 さくら組

皆さんに喜んでもらえる踊りを 健康民謡会

健康民謡会（岩奥幸子代表）は日本舞踊を永年練習され色々な場所で披露されてきましたが、慰問先等でもっと喜んだり、楽しんでもらえる踊りと、民謡を中心に練習されるようになりました。

週1回、ひと月に4回練習されていますが、稽古の後にお茶を飲みながらの談話も楽しそうでした。先月は敬老会、今月はえびす祭り、福祉施設慰問や年が明けてからのチャリティーショー等、毎月のように何処かで活躍されています。



(前列左から：幸野さん、椎葉さん、後列左から：有菌さん、岩奥さん、田島さん)

会員の皆さんも少しずつ高齢になられておりますが、これからも健康の為に、また喜んで下さる方の為に続けて行きたいと、皆さんにこやかに話して下さいました。

えびす交流館11月2日オープン

11月2日に、多良木町のちくごやさん跡に(正南通り)「えびす交流館」がオープンします。

県と多良木町、商工会の連携にて実現。内容は以下の通り。

- カムワークたんぼぼさん さおり織りの展示・販売
- 介護・福祉用品の展示・販売
- 地元野菜の販売
- 定期的なりハビリ講習と、将棋・囲碁教室 その他予定ですが、幼稚園・保育園・小学校の園児、児童が描いた絵の展示などを計画されています。また、オープンに先駆け、10月15日にプレオープンしており、1日までは、毎週月・水・金曜日の10時～16時まで開館しております。えびす交流館実行委員会代表の東邦治さんは「地域の子供からお年寄りまで、気軽にご来館頂ければ」と、皆さんのお越しをお待ちしております。11月2日(月)午前中にオープニングセレモニーを予定 終了後解放 開館：毎週月・水・金曜日の10時～16時 入館料：無料 (平成21年度熊本県地域連携型商店街づくりの助成を受けた事業)



目指そう！全国家庭婦人バレーボール大会



今年の8月には、熊日杯(県大会)のAパートで優勝を飾るなど、現在勢いについているママさんバレーチーム「多良木ママ」(監督：赤池きぬ子さん、コーチ：恒松幸徳さん)。

毎週、月・水・金曜日の20時～22時まで、町民体育館にて練習に励んでいます。「10月31日、11月1日に開催されるローソン杯に優勝して、全国家庭婦人バレーボール大会に出場することが一番の目標です」と主将の米谷さおりさん。また、現在は10名で活動していますが、新入部員も募集中とのこと。興味のある方はスポーツショップ前田(TEL：42-5012)まで。



集合写真は「先輩チーム、多良木ANJURAメンバーと一緒に」

第12回「秋の交通安全グラウンドゴルフ大会」を楽しむ



10月18日あさぎり町岡原南の齊堂地区で、交通安全グラウンドゴルフ大会が開催されました。この大会で24名の方が参加されました。ポール1本、1本に交通安全標語を貼ってプレーを楽しみました。会長の松岡重義さんは、「春と秋の年2回大会をしていますが、いつも多くの方が参加されるので感謝しています。日頃交通安全の意識を持ってこれからも、頑張っけていきたい。」と話されました。1位：福屋京江さん、2位：福田節子さん、3位：中村幸子さん

久米地区運動会賑わう

10月11日(日)久米地区運動会が久米小学校で行われました。

天候にも恵まれ大勢の皆さんが参加され賑わいました。中でも、昼食時間に、各地区より仮装した出し物があり、皆さんが喜ばれ楽しい一日でした。



久米中央地区の皆さん

